

## 地域おこし協力隊通信 (No. 20) 島人は一夕にして成らず

憧れだった『草払い機』。エンジンと背負ってブンブン！島の人を見て、格好がいいなと思う光景のひとつです。大阪時代には触れる機会がなかったで、いつかは扱ってみたいとズーツと思っていました。

種子島に移住してはじめて迎えた昨年の夏。遂にその時がやってきました。それは「よいらいき祭」の準備で空き地の草払いをしていた時です。当然の事ながら、すぐには使わせてもらえない筈もなく、憧れの機械を横目に草を集めていました。「近くに寄ると、腕がぶつ飛ぶぞ」と脅されていたにも関わらず「島の人に認めてもらいたい！」という空回りの気合いと、迫り来る台風の湿気を帯びた熱風で（↑言い訳）、知らぬ間に草払い機の近くに寄ってしまいました。「コラア〜！」と鬼の形相で怒鳴り散らされ、音で気配が感じられない状況、言い訳が許されない状況を再度論議され、大いに凹んでしまいました。「ああ、今回はチャンス無いなあ」と、のぼせそうになりながら草を集めていると「やってみる？」と天の声！急に願いが叶ってしまった昂揚感を抑え、

刈られていない草刈り場をグイグイと押し進んでいると「ダメじゃー！」と再び喝が飛んで来ました。「ただ刈ればいいってもんじゃない！トラ刈りにならないごと！刈った草が片側に集まるように！」との指示。とはいももの簡単には習得出来るはずもなく、その日の作業は終了しました。「ああ、何の役にも立てんかったなあ」と反省ばかりの夏でした。

そしてリベンジの機会もないまま、迎えた5月の連休。自宅の周りの草払いをしました。憧れの機械を担ぎ、一人作業を着ている自分を誇らしく思い。ようやく島の人になれたのかな？と一人でほくそ笑んでいました。そして作業開始！前回の反省点は「目先よりも、後の事を考える！」ですがエンジンがかかる、ついつい目先の草をなぎ倒してしまいます。作業後、刈り取った達成感はあるものの、後始末で左右に大きく散らばった草を集めながら自分を諷めるばかりでした。『島人は一夕にして成らず』  
夏祭りまで2ヶ月あまり、それまでにもう少し腕を上げたいなど思っています。（松田）

## 優勝旗奪還 第87回仲良し相撲



市町の境を挟んで星原校区・住吉校区（西之表市）の親睦を図る「第87回仲良し相撲大会」が、5月12日に星原小学校の相撲場で行われました。  
星原校区は、小学生男子5人、女子11人の計16人の力士が出場。団体戦や3人抜きなど、迫力のある好取組が随所に見られ、優勝旗争奪戦では、両校区の小学生7人が対戦し、力強い応援を背に、一戦一戦手に汗握る攻防が展開されました。  
結果は4勝3敗で2年ぶりに勝利し、優勝旗を手にしました。

